

N様板塀



芝浦工業大学 建築学部 蟹澤研究室

芝浦工業大学では佐渡市と人材育成や産業振興に関する包括連携協定を結んでいる。学生たちが実習で取り組んだものである。

相川地区の伝統的なまちなみ・景観の維持保全につながるよう、デザインから施工までを地元の職人の指導を受けながらすすめた。

日本の伝統的な工法である大和張りを用いたデザインとし、視線の抜けや風通しを考慮し板の幅を調整し設計するとともに様々な伝統的継手を採用した。

土台、柱、笠木には耐久性の優れたアテビを、大和張り部分には意匠性に優れたスギを使い分けている。

【DATA】

所在地：佐渡市（相川地区）

使用木材：スギ（佐渡市産）

アテビ（佐渡市産）

